

令和 5 年度経済対策（医療分野の研究開発）に係る主な事項

【内閣府】

○健康・医療分野におけるムーンショット型研究開発事業

R 5 補正（案）：365.0 億円（基金）

健康・医療分野のムーンショット目標「2040 年までに、主要な疾患を予防・克服し 100 歳まで健康不安なく人生を楽しむための持続可能な医療・介護システムを実現」の実現を目指し、認知症等に対応する挑戦的な研究開発を推進する。

【文部科学省】

○認知症治療等に資する脳科学研究の推進やバイオ医薬品等の創薬強化等のための健康・医療分野の研究基盤の整備

①脳神経科学統合プログラム

R 5 補正（案）：14.7 億円

認知症等の脳神経疾患の診断・治療等の開発の加速を目的に、疾患研究のための先端機器設備として、創薬ターゲット探索装置やバイオマーカー開発装置、臨床データの統合データベース等を整備する。

②生命科学・創薬研究支援基盤事業（BINDS）

R 5 補正（案）：9.8 億円

バイオ創薬強化のための基盤整備として、核酸医薬に最適化された ADME 評価（薬物候補の吸収、分布、代謝、排せつ評価）のための試験系を確立させるための機器等を整備する。

③再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム

R 5 補正（案）：10.4 億円

アカデミア向けに少量・多品種・低価格なウイルスベクターを製造できる基盤を整備する。

④ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム（B-cure）

R5補正（案）：5.8億円

バイオバンクの維持運営に必要な設備、機器の整備や関連するシステムの改修等を行う。

⑤新興・再興感染症研究基盤創生事業

R5補正（案）：2.1億円

パンデミック発生の疑いが生じた際の現地国での迅速な研究活動に必要な不可欠な機器の整備や、老朽化した設備の更新を行う。

○大学発医療系スタートアップ支援プログラム（橋渡し研究プログラム）

R5補正（案）：152.2億円（基金）

橋渡し研究支援機関（文部科学大臣認定）の中から選抜した機関を通じ、大学発医療系スタートアップの起業のための専門的見地からの伴走支援等を実施する。

【厚生労働省】

○がん・難病の全ゲノム解析等の推進

R5補正（案）：36.5億円（革新的がん医療実用化研究事業）

R5補正（案）：16.0億円（難治性疾患実用化研究事業）

「全ゲノム解析等実行計画 2022」をさらに推進するため、創薬力強化に資する情報基盤・利活用環境の速やかな構築、利活用の推進及び全ゲノム解析等の結果の患者への還元を加速する。

○次の感染症危機に備えた有効な治療薬等の研究開発の推進

（新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業）

R5補正（案）：10.0億円

次の感染症の発生に備え、治療薬等の研究開発や病態解明に資する研究、検査・診断法や医薬品の開発に応用可能なプラットフォーム技術等を含めた基盤技術の研究開発を支援する。

○優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化学業

R5補正（案）：7.1億円

人材育成・リスクリング推進拠点を選定し、事業計画の策定等、医療機器の創出の種々のステージにおいて必要となる人材を配置するとともに、企業などから人材を受け入れ、配置された人材が研修等を実施することにより人材の育成・リスクリングを行う。

○アルツハイマー病の疾患修飾薬等の社会実装に伴う効果的な診断・治療方法の確立と普及を目指す研究（認知症研究開発事業）

R5補正（案）：0.5億円

アルツハイマー病の疾患修飾薬等の新規モダリティ薬剤の投与者を追跡することが可能なレジストリを構築し、全国規模で把握したデータの蓄積による治療効果等の検討を行う。

○統合創薬 AI プラットフォームを活用した AI 創薬の推進（創薬支援推進事業）

R5補正（案）：3.0億円

創薬ビッグデータから構成される統合創薬 AI プラットフォームの構築を推進するとともに、生成 AI で得られたシーズ化合物の検証を支援することで、プラットフォームの創薬応用を加速させる。

○生成 AI を活用した新規がん・難病治療薬創生

（（国研）医薬基盤・健康・栄養研究所の研究費）

R5補正（案）：5.0億円

医薬基盤・健康・栄養研究所で収集した様々なデータ等を活用して、ゲノム情報を含むマルチオミックスデータから AI を利用して効率的に治療標的となる抗原を同定する方法を開発するとともに、生成 AI を用いた抗原に特異的な T 細胞受容体/抗体の同定システムの開発を行い、それらの治療効果や疾患モデル動物における免疫応答を評価・予測するイメージングシステムを開発する。

【経済産業省】

○イノベーションを牽引するスタートアップ等の支援

（次世代ヘルステック・スタートアップ育成支援事業）

R5補正（案）：3.8億円

ヘルステック分野において、研究機関や民間企業等に所属する起業人材に対して、①伴走支援機関を通じて、起業する上で必要不可欠な専門的知識の習得に向けた教育プログラムの提供や個別メンタリング等のハンズオン支援を行うとともに、②革新的な製品・サービスのシーズ開発に対する支援を行うことにより、ヘルステック・スタートアップ創出に向けた起業人材の育成を行う。